

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT部会	
開催日時	令和5年11月9日(木) 開会：19時00分・閉会：19時45分	
開催場所	産業文化会館管理棟 2B会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、大山恵巳、村上万里子	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、江袋文紀、石島弘美、平賀絵美、淵上通子、川島 治	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	I. 前回のまとめ II. 議題 1. MCSについて 2. 「わたしの人生ファイル」について	
会議資料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
令和5年11月29日	上 村 勇 樹	
	藤 井 尚 子	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 18：30</p> <p>I. 前回のまとめ</p> <p>1. MCS について</p> <p>訪問看護事業所には上村委員が働きかけているところ。 研修に参加を促すより、ケアマネ連絡会のようなところに向 いて研修を行っても良いのでは MCS の会社にレクチャーしてもらうのも良いのでは</p> <p>2. 人生ファイルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行田人 17 号誌の初校確認 ・ 今度の予定 <p>第 18 号は「介護サービスを使い始めるふら平さんの巻」、 第 19 号は災害、20 号は人生の最終段階の場面を予定</p> <p>II. 議題</p> <p>1. MCS について</p> <p>10/31 に Zoom でエンブレース社（MCS）と在宅医療・介護連 携支援センター、上村委員、藤井委員と打合せを行った。 （打合せの詳細は、別紙「エンブレース株式会社打合せ備忘録」 参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MCS は何のために使うのかが重要。MCS を使うのでは なく、「これがしたいから MCS を使う。」が大事である。 ・ ルールの改訂や運用についても考えていくことが必要。 現状、医師のみがグループ作成ができ、関係者を招待が できるが、その規定を変更できるか、本協議会の会長で ある医師会の川島医師に確認中。 ・ 研修については、ルールの変更についての結果を待って

実施するという事になっている。

- ・ルールの変更を経ないでも、連絡会の連絡ツールとして活用するもの一案である。

まずは、委員が MCS の使い方を学ぶ研修などを受講するものいいのではないか。

サービス担当者会議を動画で行うときに、MCS を活用するためには、ビジネスプランで 1 ユーザー 300 円/月の追加料金で利用できる。

平日であれば、エンプレース社の WEB 研修を受けることができる。

MCS の活用よりも、まずは関係づくりが必要なのではないか。お互いの知らないことが多い。研修部会でもそのような研修の実施の提案がされていると聞いている。

行田市医師会は高齢化を進んでいる。MCS を活用するのは、難しさがあるが、世代交代もあるため、今後は希望がある。

医師が、MCS を使えば、MCS を使う。使えなければ、医師以外は MCS を使い、医師へはそれ以外の連絡手段をとれるとよい。

それには、招待者が医師以外でも可能になるように、MCS 運用ポリシーの改訂が必要になる。運用ポリシーは行田市医師会にあるため、改訂要望について、医師会へ投げかけていただきたい。

2. 「わたしの人生ファイル」について

シートをもう少しシンプルにしていく改訂を行いたいと考えている。

【閉会】 19 : 45